

「中国地区で初のCHGツアー開催!」

広島県を代表する名門コース 広島カントリー倶楽部をプレーする2日間!



先週の東海地区初開催
の南山カントリークラブに続き、4月22日(火)、23日(水)に今度は中国・四国地区初開催で、広島カントリー倶楽部の西条コース、八本松コースの2日間の広島ゴルフトーナメントを行いました。ほとんどの方が地元広島の方でしたたが、東京からご参加頂いた方もおり、広島CCが多くの中ゴルフアーティストとして一度はプレーしてみたいと思う名門コースであることが感じられました。

天
気は晴天で、風もなく絶好のゴルフ日和に開催された広島ゴルフトーナメントは、お世話になつておられる本ゴルフコース設計者協会様との共同開催でした。



1日目の22日(火)にプレーした西条コースは、2010年に今年からPGA会長に就任された倉本昌弘プロが改造設計されたコースで、ベント芝のワングリーンになつたため、その観察も兼ねて企画されました。
OUTコースはフェアウェイが広く、OBが少なく伸び伸びと楽しめます。

ースで少しスコアを崩されていました。西条コースはプレーのみで競技は行いませんでした。標高が高いためきれいな景色を楽しみながらプレーすることができました。



びとプレーすることができ、松がショットの目標になるため攻めやすいですが、INコースは左右が松林のため、フェアウエイが狭く感じ、更にはOBが目に入るように設計され、プレッシャーになるコースになっていました。

また、OUTコースより距離があるため、皆さんINコ

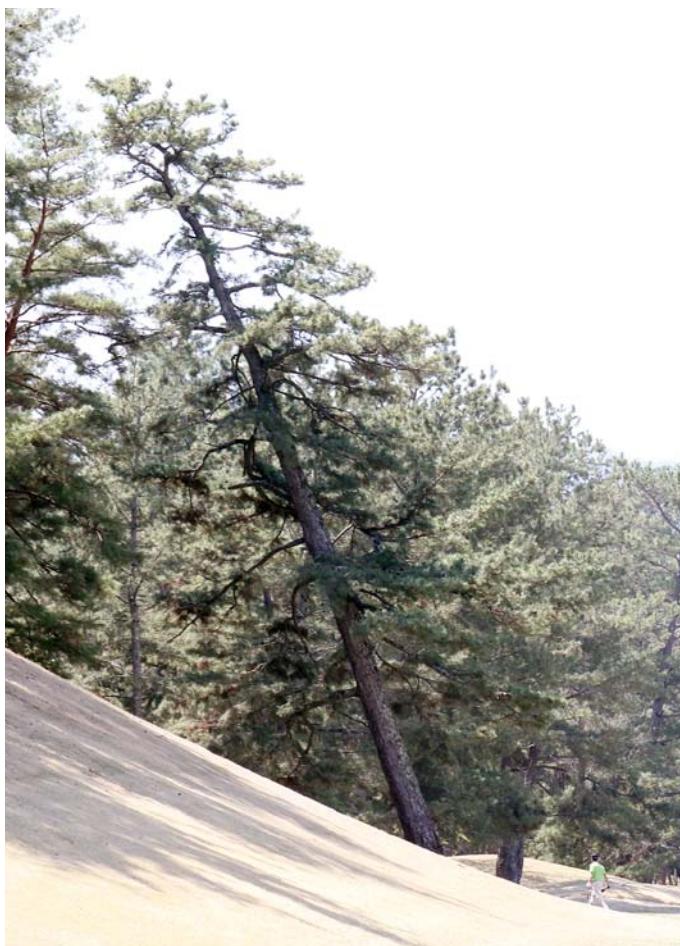
2 日目の3日（水）は、様々なトーナメント

を開催したことで有名な八本松コースで、こちらも2003年にベント芝でワングリーン化した丘陵・林間コースです。全体的に距離が長いホールが多く、ハザードも効果的に配置されているので、美しいが難しいコースでした。

八本松コースはトーナメン

トがたくさん開催されているコースで、1972年にはスタートした広島オープンは、HT

レスで少しスコアを崩されていました。西条コースはプレーのみで競技は行いませんでした。標高が高いためきれいな景色を楽しみながらプレーすることができました。



八

本松コースは名前の通り、多くのホールで

V杯、ヨネックスオープン、住建産業オープンと続き、2003年からウッドワンオープンとして2007年まで開催されました。また女子のトーナメントでは、1979年、2004年に日本女子オ

ープンゴルフ選手権も開催されています。最近では、2011年に第21回日本シニアオー

ープン選手権競技も開催されしており、中国・四国地区では最も有名なコースと言っても過言ではありません。そんなコースとあって、コンペでは皆さんとても真剣にプレーされました。

松がアクセントや目印になつており、「あの一本松の右を狙つてください」「大きな二本松の左を狙つてください」「右の手前の松が大きく上に広がっているので、持ち球がドロー・ボールの方は不利ですかね」などキャディーさんとの会話で沢山松が出てきました。さすが“八本松”コースです。中には、枝が幹に絡んでいるように見える松や、ボールの弾道にある大きな松が、もともとはまっすぐ生えていたのに50年経つうちに斜めに生えてきており、「ボールを当てられる恐怖から松が斜めに伸びた」などメンバーさんの中で共通の話題になつているようでした。

八本松コースは、トーナメ
ントコースとしては決して長い距離ではありませんが、松を使ったコース設計、バンカーを中心とした多くのハザード、そしてアンジュレー・ションを強くしたグリーンなど、澤山の罠が仕掛けられた難易度の高いコースでした。

今回、CHGとして初めて中国・四国地区で開催した広島名門ゴルフツアードでしたが、なかなか普段お会いすることができない、会員様とお会いできて本当に貴重な時間となりました。今後も、もっと定期的に全国のゴルフ場で開催できるようにしてまいりました。今後も、もつとお近くのゴルフ場で開催され

